

編集 後記

日本では、今冬の新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備え、予防接種が例年より早く10月1日から開始されました。そして、本稿を書いている10月末現在、欧州では新型コロナウイルス感染症の第二波が到来し、再び、夜間外出禁止等の行動規制が課されています。依然として予断を許さない状況が続く中、2020年の日本公衆衛生学会総会は初めてオンライン開催されました。個人的には、自宅や職場で比較的じっくりと参加でき、新しい開催形式として「あり」と思いました（あくまでも一学会員の意見ですが）。会員の皆様はいかがでしたでしょうか？

さて、本号には、英文原著2編を含む原著5編が掲載されています。英文原著2編のうち、1編は、ベイズ型 age-period-cohort モデルを用いて、都道府県別による死亡率の変化を検討した研究です。もう1編は、日本の大学生を対象として、朝食欠食と健康関連習慣との関連を検討した横断研究です。朝食欠食を生活習慣全般の指標として捉え、検討しています。

和文原著3編は、いずれも高齢者を対象とした研究です。1編は大規模コホート研究のデータを用いて、認知症を伴う要介護認定の発生要因として趣味の種類や数に着目した縦断研究です。地域づくりによる認知症介護予防対策を進める上で、その活動内容を示唆する重要な結果ではないかと思います。2編めは、高齢者の運転免許返納における“自主”の意味やその意思決定プロセスについて検討した質的研究です。3編めは、在宅の介護関連職の認識する医療職との連携困難感を測定する尺度の開発に関する研究です。いずれも今後の高齢者の健康課題やその支援体制を考えたり、評価したりする上で必要な知見を提示している研究です。

このように本号に掲載された論文は、研究領域や研究対象、研究デザインが多種多彩であり、いつも通り公衆衛生の奥行きの深さを実感していただけたと思います。今後とも皆様からの投稿を心よりお待ちしております。

（丹野高三）

次号予告（第67巻・第12号）

特別論文

2020年の世界保健機関健康開発総合研究センター
.....サラ・ルイズ・バーバー，他

原 著

中小企業雇用者におけるワーク・ファミリー・コンフリクトに関連する要因.....熊谷麻紀，他
豪雪地帯農村部において生活支援の担い手となる
意向を持つ高齢者の特性.....伊藤 海，他
地域住民におけるヘルスリテラシーと高血圧・糖
尿病・脂質異常症の関連：横断研究
.....木村宣哉，他

公衆衛生活動報告

ロールプレイを活用した研修の企画とファシリ
テーション技術の獲得に向けた保健師への教育
の評価.....荒木田美香子，他

資 料

日本人女性における就業状況別での婚姻・出生率
の年齢・時代・コホート分析.....奥井 佑